

要 望 書

(はじめに)

日頃より、熊谷市サッカー協会に対し、格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、熊谷市サッカー協会では、平成29年8月26日・第158号にて「熊谷さくら運動公園多目的広場（サッカー場）の設備充実について」の要望書を提出いたしました。その後の反響も大きく、市内・市外の多くのサッカーチーム等を中心に要望書の趣旨に賛同いただくとともに、その実現を求めた署名活動にも参加をいただき、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらスポーツを堪能する中であるものの、短期間で3,300名を超える方に署名を寄せていただきました。

まさしくスポーツ熱中都市宣言の熊谷市らしく、老若男女を問わず「実践」「応援」「協力」に関わるそれぞれの立場の方々から寄せられた署名からは、あらためて大きな期待が寄せられていることがわかるのではないのでしょうか。

8月に提出いたしました要望書の繰り返しとなりますが、本市は、市民一人ひとりが自分にふさわしいスタイルでスポーツに熱中することをとおして、だれもが生涯にわたって健康で元気に暮らせるまちづくりを目指し、スポーツ熱中都市宣言をもとに、熊谷市スポーツ振興基本計画を策定し、競技スポーツ、ニュースポーツ、健康づくり、レクリエーションとしての運動まで、幅広く、老若男女を問わず楽しめるスポーツ環境整備を進めていること、特に、熊谷市サッカー協会では平成29年7月に「熊谷さくら運動公園陸上競技場インフィールドの芝生改修について」の要望をしたところ、ラグビーワールドカップ2019の開催に合わせた天然芝張替を含めた設備改修により、海外からの選手たちの練習場として高い評価を得られるなど、積極的な対応に感謝しております。

令和2年度から本格的に熊谷市スポーツコミッションがスタートし、全国規模の大会誘致を行うなど、ますます本市のスポーツ振興の取り組みが全国的に発信されるものだと期待している中、埼玉県サッカー協会・第4種少年サッカー連盟を通じ、2022年3月開催予定のチビリンピックJA全農杯全国小学生選抜サッカー大会 in 関東の誘致をすることもでき、県営熊谷スポーツ文化公園において激戦が繰り広げられることになりました。

スポーツ文化村「くまびあ」の全天候型的人工芝グラウンドは65.6%（令和元年度）と高利用率であり、利用者の評価も高く、また、令和元年10月の台風19号による河川敷グラウンドの被害も復旧までに長時間を要したことにより、熊谷さくら運動公園多目的広場（サッカー場）の設備充実として「人工芝生化」を求める声が高まっています。天然芝グラウンドと人工芝グラウンドを比較した場合、高額な初期費用は要するものの、将来的な維持管理面を考慮すると人工芝グラウンドの採用が望ましく、隣接の「くまびあ」人工芝グラウンドと連携させることにより、全国・関東大会規模の誘致などにも拍車がかかるとともに、さらなる利用者ニーズに応えることのできるスポーツ環境の向上が図れるものと考え、熊谷市サッカー協会として3320名の署名を添えて強く要望いたします。

(具体的要望事項)

1. 熊谷さくら運動公園多目的広場（サッカー場）「全面人工芝生化」の採用による設備の充実
2. 熊谷さくら運動公園多目的広場（サッカー場）「ナイター照明装置」のさらなる充実（増設）

以上